

# あなたも適応かもしれません…

主治医より次のような診断はされていませんか??

- ・ 腸閉塞（イレウス）
- ・ 糖尿病性壊疽
- ・ 突発性難聴
- ・ 骨髄炎
- ・ 開放骨折
- ・ 重症の熱傷や凍傷
- ・ 腰部脊柱管狭窄症 etc…



このような症状のある方、『**高気圧酸素治療**』というものをご存知でしょうか？

---

高気圧酸素治療とは??

---

普段わたしたちが生活している気圧を大気圧（1気圧）といい、高気圧酸素治療では大気圧よりも高い

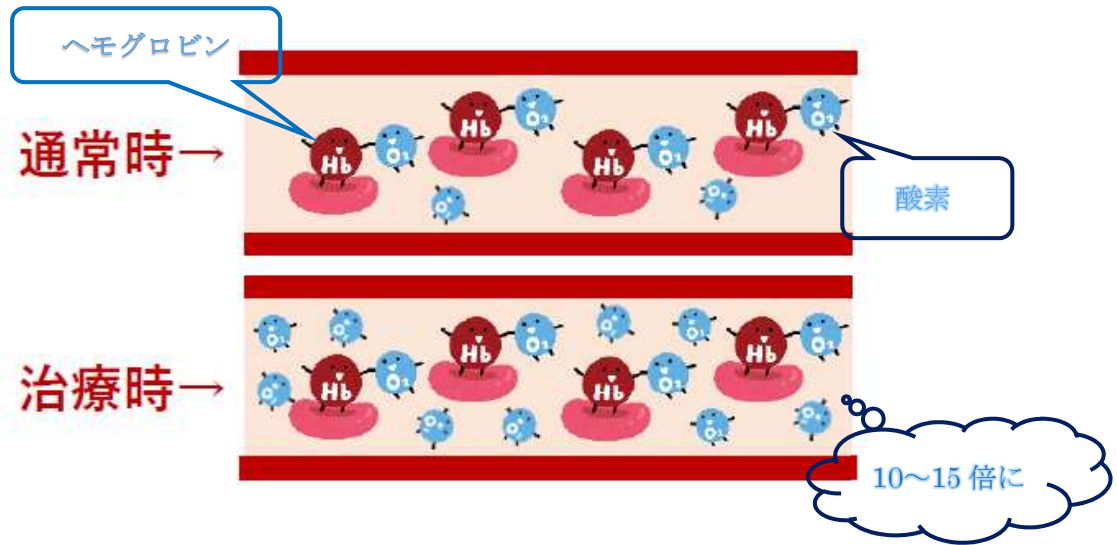
**2気圧**（水深 10m）まで装置内を加圧し、**100%酸素**を吸入することによって病態の改善を図る治療法

です。



気圧を高くし、100%酸素を投与するとどうなるの??

- ① 血管内にたくさんの酸素を取り込み、体のすみずみまで酸素を運ぶ。



血液中の酸素には『結合型酸素』と『溶解型酸素』と呼ばれるものがあります。

血管内の酸素は、多くが赤血球の中に含まれるヘモグロビンにくっつき運ばれます。これを**結合型**

**酸素**と呼び治療中は100%酸素を使用するためヘモグロビンにくっつく酸素の量が増えます。

**溶解型酸素**とは血液中に直接溶け込んで、体の中を運ばれていく酸素です。通常、血管内の溶解

型酸素はわずかですが、治療中圧力をかけることにより溶解型酸素が増加します。

『ヘンリーの法則：気体と液体が接する界面で液体中に溶け込む気体の量はガス分圧に比例する』!!!

簡単に言うと、圧力をかけた分だけ液体にガスをたくさん溶け込ませることが可能。

飲み物で例えるならば、微炭酸と強炭酸のような...

よって、圧力をかけることにより血液中にたくさんの酸素を溶け込ませる事ができます。酸素を多く取

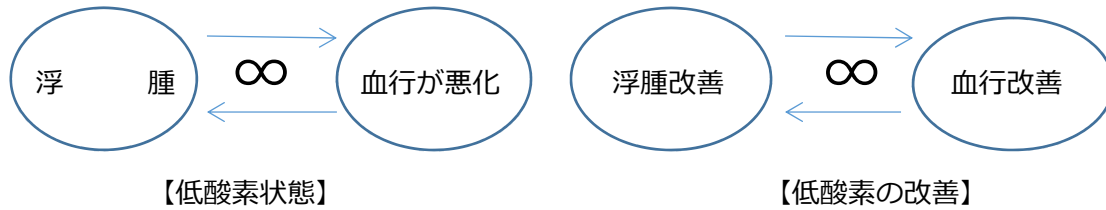
り込むことで、血管は収縮、さらにむくみも減少。

血管は収縮しますが、血液中には10~15倍のたくさんの酸素が溶け込んでいる為、細胞の隅々まで

酸素が行き渡り細胞が活性化、キズの治りも良くなります。

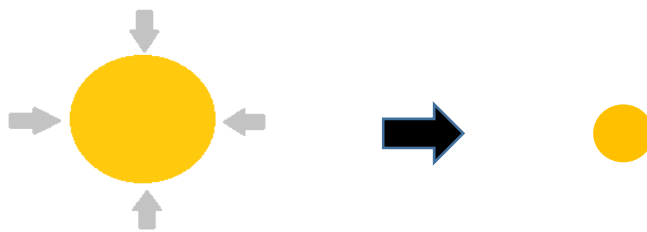
体のむくみが起こると、血管を圧迫し血行状態が悪化し、さらにむくむという悪の連鎖が起こります。

高気圧酸素治療によりむくみが軽減されると血行も良くなり、低酸素状態も改善されるという良い連鎖が起こります。



一酸化炭素中毒、糖尿病性壊疽などに効果的です。

- ② 圧力をかけることによりガスが小さくなる。



『ボイルの法則：一定下の温度で気体の圧力と容積は逆比例する』

この法則によって、治療の装置内は普段私たちが生活している地上よりもガスにかかる圧力は2倍になります。そうすると、そのガスの大きさは約1/2に小さくなり、体内よりガスを排出しやすくなります。

腸閉塞などに効果的です。

- ③ 体の免疫機能を向上させる。



- ・酸素の特性を利用し、細菌の発育を阻止します。
- ・白血球の働きを良くし、抗菌薬の効きも良くします。

ガス壊疽、壊死性筋膜炎、骨髓炎などに効果的です。

### 治療の流れ

加圧 10～15分



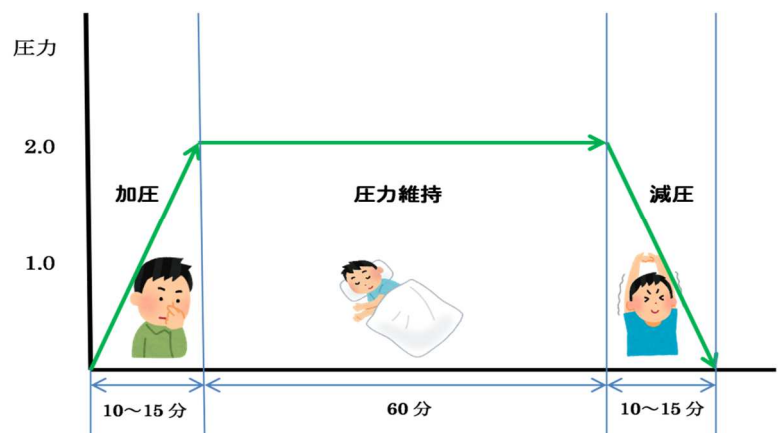
維持 60分



減圧 10～15分

この3工程でトータル約90分

間装置の中に入ります。



加圧と減圧時は、耳が『キーン』

と痛くなる場合があります。その時は**耳抜き**をして頂きますが、圧力維持中はリラックスした状態で治療を受けることができます。治療中は臨床工学技士が付き添い受話器を通して会話も可能です。

治療中はTVも見る事が出来ますので安心して治療をお受け下さい。

治療中はTVも見る事が出来ますので安心して治療をお受け下さい。

### ～耳抜き方法～

- ・唾を飲み込む
- ・大きく口を開ける
- ・鼻をつまみ、鼻をかむようにゆっくりと空気を送る



---

治療ができない可能性のある方

---

- ・ペースメーカー使用中の方
- ・肺疾患のある方
- ・喘息発作がある方
- ・血圧が高く気分の悪い方
- ・風邪をひいて耳抜きができない時（鼻水・鼻づまり）
- ・耳や鼻に持病がある方
- ・閉所恐怖症で狭い所が苦手な方
- ・おなかの具合が悪い時（下痢など）
- ・妊娠中の方

---

安全に治療を受けていただくために

---

装置内は大変燃えやすい環境となっています！！

そのため、**綿 100%**の治療衣に着替えて治療を受けていただく必要があります。

次のような物も持ち込めません・・・

**※発火源となるもの**

マッチ、たばこ、ライター、使い捨てカイロ、白金カイロ

**※引火する危険のあるもの**

アルコール綿、整髪料、化粧、マニキュア、香水



※火傷の危険のあるもの

湯たんぽ

※衝撃により火花を発するもの

電気製品、PC、携帯電話、装飾品類、時計、補聴器、鍵

※その他

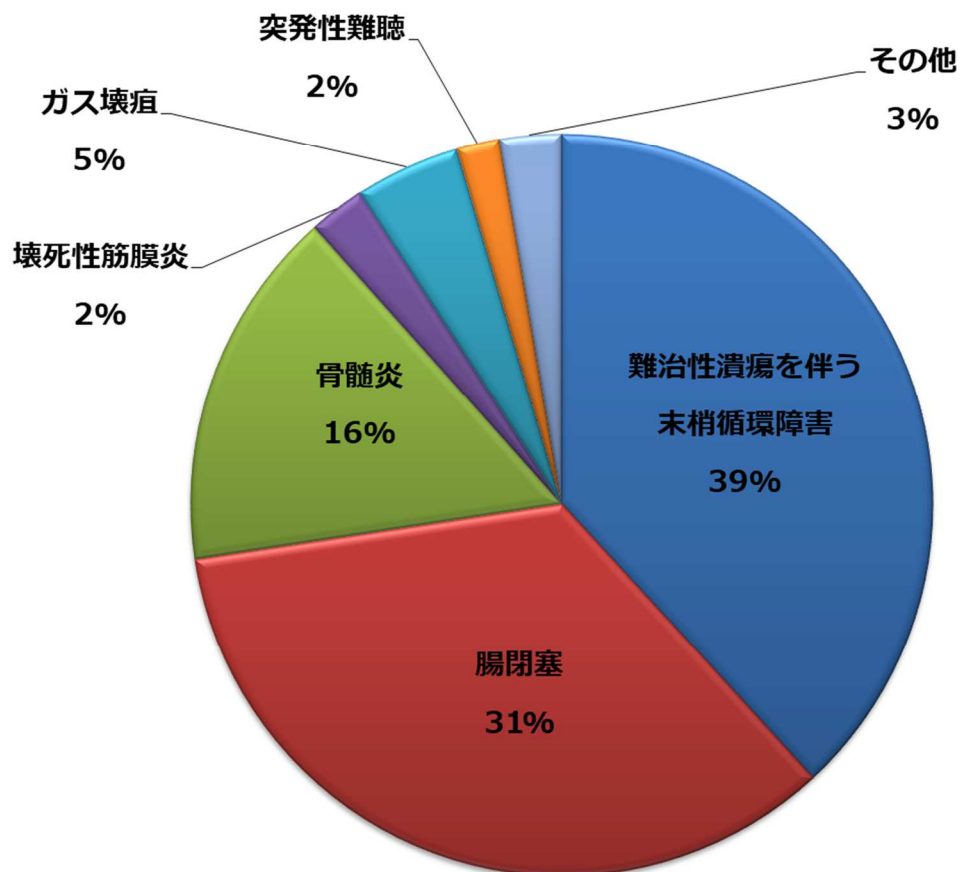
湿布・エレキバン、コルセット、入れ歯、眼鏡

治療前の持ち物検査にご協力下さい。



治療実績

当院の適応疾患 割合



## 当院の疾患別件数（2008年～2019年）

